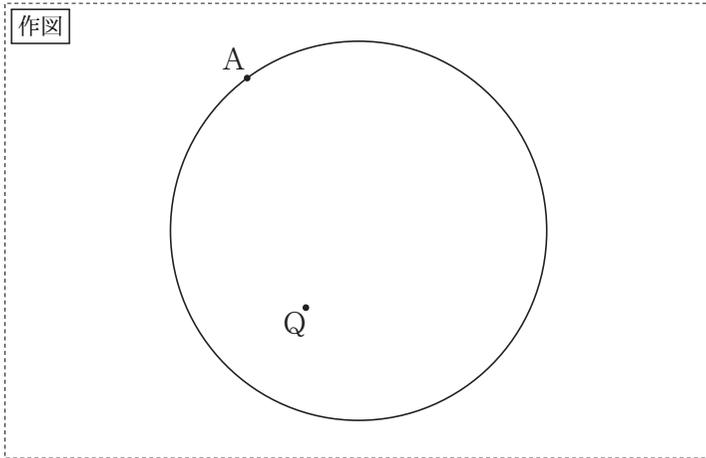


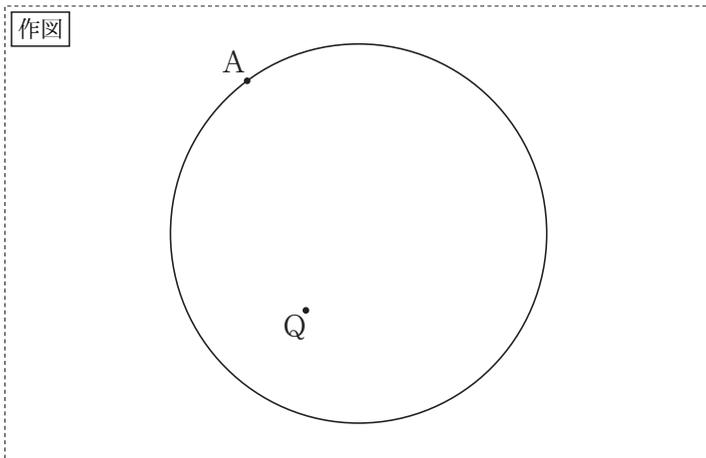
山口県の作図問題 [平成31年度]

\_\_\_月\_\_\_日  
氏名 \_\_\_\_\_

- 6 下の図のように、円形の紙の周上に点 A があり、内部に点 Q がある。線分 AQ と、点 A と点 Q が重なるように折ってできる折り目の線分の交点を P とする。点 P を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。



もう一度やってみよう！

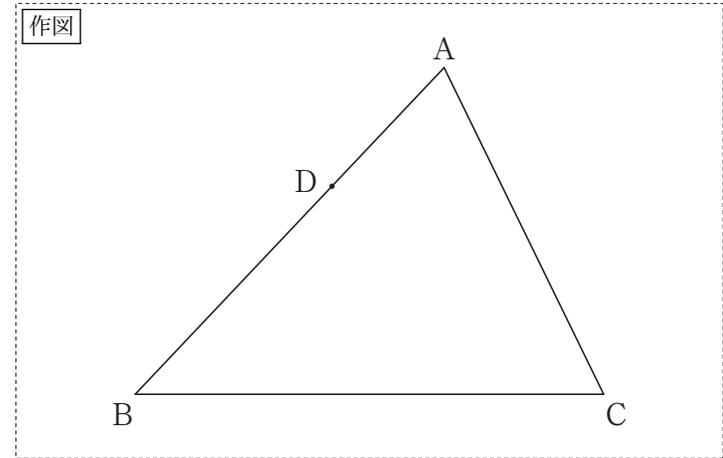


(改題・問題の一部を省略)

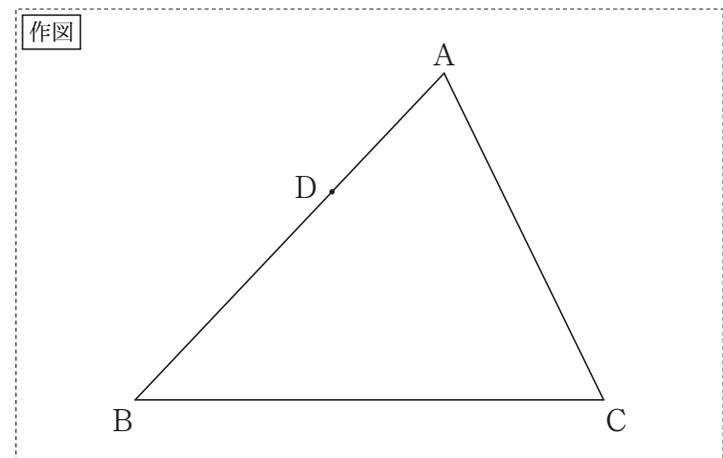
山口県の作図問題 [平成30年度]

\_\_\_月\_\_\_日  
氏名 \_\_\_\_\_

- 5 下の図のように、 $\triangle ABC$  の辺 AB 上に点 D がある。中心が  $\angle ABC$  の二等分線上にあり、点 D で辺 AB に接する円について、その円の中心 O を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。



もう一度やってみよう！



# 山口県の作図問題 [平成29年度]

\_\_\_月\_\_\_日  
氏名 \_\_\_\_\_

6 PさんとQさんのクラスでは、長方形には次の性質があることを学習した。

性質

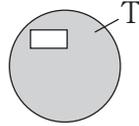
長方形の面積は、その長方形の対角線の交点を通る直線により二等分される。

(2) Qさんは、性質を使った問題を、次のように作り、クラスで発表した。

Qさんが発表した問題

右の図のように、円とその円の内部に長方形があり、円から長方形を除いた図形（色のついた部分）をTとする。

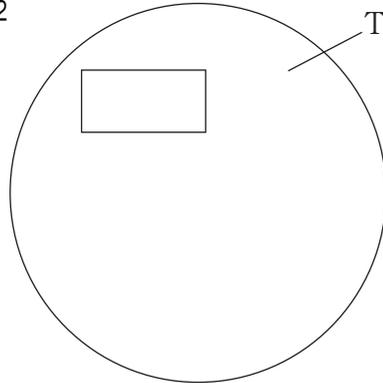
図形Tの面積を、二等分する直線を作図しよう。



Pさんは、Qさんが発表した問題をもとに、図2のように、図形Tをかいた。

図2で、図形Tの面積を二等分する直線のうち、性質を使ってひくことのできる直線 $l$ を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。

図2



# 山口県の作図問題 [平成28年度]

\_\_\_月\_\_\_日  
氏名 \_\_\_\_\_

5 正方形の折り紙 ABCD がある。

まず、辺 AB と辺 DC が重なるように折ると、折り目の線分 EF ができ、もとにもどすと、図1のようになった。

次に、頂点 B を通る線分を折り目として、図2のように、頂点 C が線分 EF 上にくるように折り、新たにできた折り目の線分を BG とした。

図1

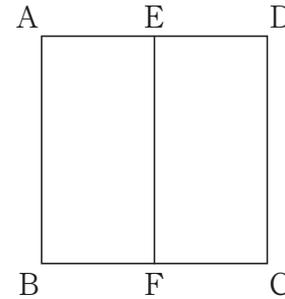
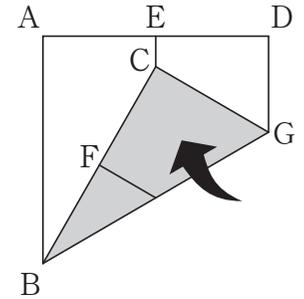
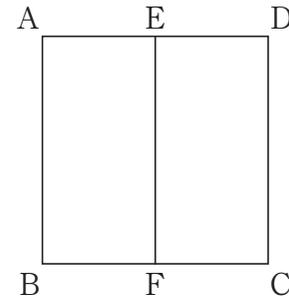


図2



下の正方形 ABCD で、折り目の線分 BG を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。

作図



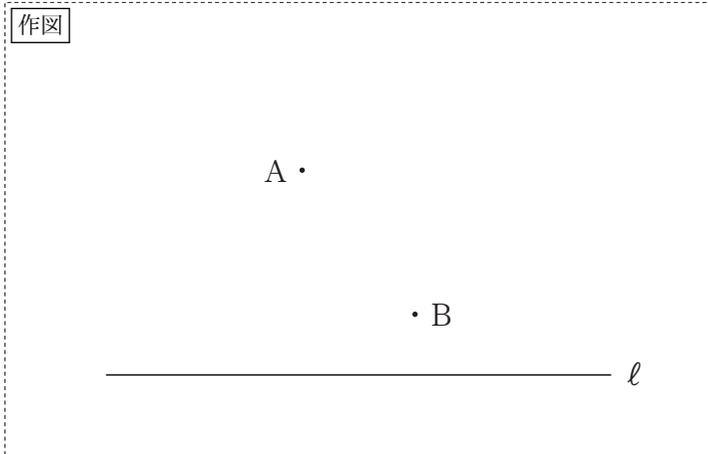
# 山口県の作図問題 [平成27年度]

\_\_\_月\_\_\_日

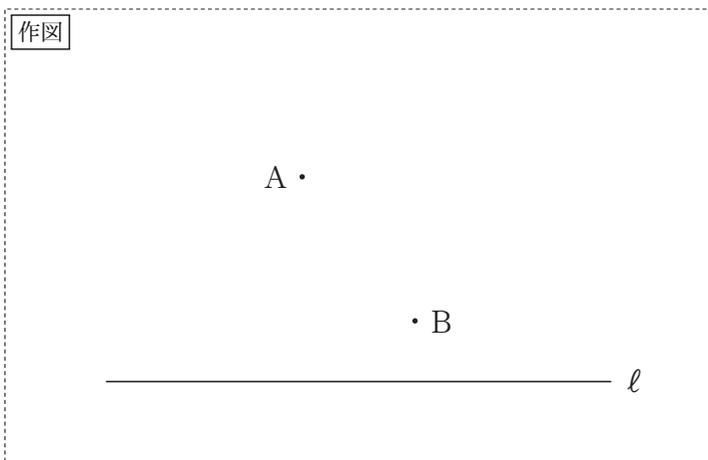
氏名

\_\_\_\_\_

- 5 下の図のように、直線  $l$  と、 $l$  上にない2点  $A$ ,  $B$  がある。点  $P$  が  $l$  上にあり、2つの線分  $AP$ ,  $PQ$  が対角線となるひし形  $APBQ$  を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。



もう一度やってみよう！



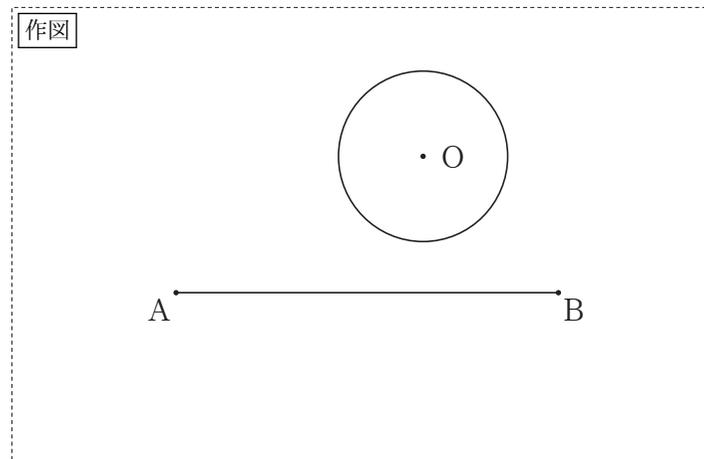
# 山口県の作図問題 [平成26年度]

\_\_\_月\_\_\_日

氏名

\_\_\_\_\_

- 4 下の図のように、線分  $AB$  と円  $O$  がある。円  $O$  の周上に点  $P$  をとってできる  $\triangle PAB$  について、面積が最も大きくなる時の点  $P$  を、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。



もう一度やってみよう！

